

壁新聞にご利用ください。



発行
公益社団法人 横浜港防犯協力会
横浜市中区海岸通1-1
電話 (201) 2982 番
印刷所 (有)ハマ印刷
TEL(260)0266

新年のご挨拶

公益社団法人横浜港防犯協力会
会長 藤木 幸太



新年明けましておめでとうございます。
会員並びに関係各位の皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には平素より、横浜港防犯協力会の活動につきまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、昨年を振り返ってみますと、菅義偉氏が第九十九代内閣総理大臣に就任し、菅内閣が発足しました。又、新型コロナウイルス感染症の世界流行で経済が短期間に深刻な景気後退に陥った一年でした。
又、この新型コロナウイルス感染症拡大に便乗した詐欺が横行致しました。給付金等への期待感につけ込む手口、行政機関の職員だと装い個人情報等を盗み取る手口、助成金の給付手続きを代行すると言って口座番号等を聞き出すとすると口座、そして感染不安に付け入るオレオレ詐欺。私たちの日々の生活を脅かす事件の発生が後を絶ちません。当協会としましては、新型コロナウイルス感染症拡大を懸念し、総会・理事会や大規模なキャンペーンを中止させていただきましたが、啓発物品の配布や巡回広報等で出来る限り防犯意識の向上を図りました。
今年は昨年残念ながら開催出来なかった東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。これまで国はテロ対策として、セキュリティ

新年のご挨拶

横浜水上警察署長
山田 俊



ティ対策検討体制の設置、未然防止のための水際対策及び情報収集・分析機能の強化、核・生物・化学物質のテロ対策やサイバーセキュリティ推進体制の強化に取り組んで参りましたが更にコロナ対策について総合的に検討・調整するため「新型コロナウイルス感染症対策調整会議」を重ねています。当協会もこれを受けて、市民・自治体・警察と密接な連携を取り、引き続き万全な準備をしていかなければなりません。
安全で安心して暮らせる地域社会の実現は、国民共通の願いです。今後とも住みやすい街、明るい港の実現を目指す為、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。
年頭にあたり、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。
横浜港防犯協力会の皆様からは、平素から各種防犯活動はもとより、警察行政全般にわたり深いご理解と様々なご支援をいただきありがとうございます。昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響により、我々警察もこれまで経験したことがない状況の中、様々な対策を模索しながらの日々ではありますが、管内治安を平穩に維持できているのも皆様のご協力あってのことと、改めてこの紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

そのような中、昨今の管内における治安情勢については、県警察の喫緊の課題である振り込め詐欺の発生は抑止できているものの、商業施設における万引きや一寸の間、置いておいたバッグが盗まれるなどの窃盗犯の発生が刑法犯の約七割を占めていることから、振り込め詐欺の抑止と検挙対策に併せて、制服警察官の警戒活動の強化や警察用船舶による海上、河川からの防犯活動等を展開しているところであります。
他方、一昨年から続いている管内の交通死亡事故発生ゼロ件を継続すべく、関係団体の多岐にわたる協力を得ながら各種交通安全活動も徹底しております。

さて、本年は、新型コロナウイルスの問題で延期されていたオリピック・パラリンピックがいよいよ開催される年であります。また、観光地の賑わいも徐々に戻ってきていることに加え、国内航路ではありまがクルーズ船の営業も再開されていることを鑑みると、この港ヨコハマとその周辺施設には、国内外を問わず、数多のお客様が訪れることが予想されます。
このため、横浜水上警察署としては、その方たちが、「横浜は、世界一、安全で安心して楽しむことが出来る。」と思えるように、また、同時に、横浜港防犯協力会の皆様を筆頭に、横浜港やその周辺で働く多くの港湾人の方たちが、「安全で安心して働くことができた。」と実感できるように、中区に所在する周辺警察署等との連携を更に強化して、各種警察活動を展開してまいりますので、変わらぬご支援を頂きますよう宜しくお願い致します。
結びに、横浜港防犯協力会の益々の発展と会員の皆様、そのご家族のご健勝を心からお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

横浜税関監視部長
矢野 剛



新年明けましておめでとうございます。
公益社団法人横浜港防犯協力会会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
藤木会長はじめ会員の皆様方には、平素から横浜港における税関の監視取締りや輸出入貨物検査にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年来新型コロナウイルス感染症は感染拡大しており、税関としても「新しい生活様式」に対応しつつ健康・安全と業務との両立を図ることが必要と考えます。コロナ禍においても、税関では「安全・安心な社会の実現」を使命の一つとして、不正薬物や銃砲等の社会悪物品、テロ関連物資、知的財産侵害物品や金地金等の日本国内への密輸入を阻止するため、感染防止対策を徹底しながら水際取締りに取り組んでいます。
横浜税関管内での不正薬物の密輸入は依然として後を絶たず、令和二年上半期の不正薬物の摘発件数は全国の約五割を占めています。また不正薬物の押収量も増加しており、エクアドル共和国の約七〇〇塊の coca イン、南アフリカ共和国の約二七〇七キログラムの覚せい剤等海上貨物でも大口の摘発事案が発生するなど、不正薬物等の密輸入は極めて深刻な状況にあります。税関としては、巧妙化・多様化する密輸に対して、効果的・効率的な水際取締りを実施していく必要があります。
加えて、本年七月からは新型コロナウイルス感染症の影響により延期されていた東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていますが、このような大規模な国際行事等を狙ったテロは重大な脅威であり、テロ対策の推進が重要となります。税関としましては、テロの未然防止のため、関係取締機関との連携を密にし、テロ関連物資等の水際取締りの強化に取り組んで参ります。このような多岐に亘る課題に的確

新年のご挨拶

横浜市港湾局長
中野 裕也



新年明けましておめでとうございます。
横浜港防犯協力会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

皆様には、平素より横浜港の振興、発展にご協力を賜りますとともに、「防犯の日」を中心とした巡回広報など、横浜港及びその周辺地域の犯罪のない「明るい港」づくりにご尽力いただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の拡大が社会に大きな影響を及ぼす中にあつても、横浜港は市民生活を支えるうえで欠かせない社会インフラとして、重要な役割を果たしています。本年も引き続き、市民生活を豊かにする総合港湾づくりを進めてまいります。
物流施策では、国際コンテナ戦略港湾の中核施設として、南本牧ふ頭 MC3・4 コンテナターミナルが供用を迎えました。MC1・2と一体的に運用することで、高規格な能力の発揮が可能となります。また、自動車取扱機能強化を図るため、大黒ふ頭 C3 自動車ターミナルの供用を開始しました。
更に、横浜港の将来を見据え、本

新年のご挨拶

横浜水上交通安全協会
会長 原田 龍次郎



形成、新本牧ふ頭の埋立着手などを推進してまいります。
賑わい施策では、国内クルーズ客船の運航にかかる国のガイドラインの策定や船会社の協力を得て、トリアル運航や訓練で安全性の検証を行い、昨年十一月から横浜発着国内クルーズが再開されました。引き続き関係機関等と連携しながら、感染対策を徹底し、乗客・市民の皆様にとって安全・安心なクルーズ船の受入を進めてまいります。
環境施策では、新たな船舶燃料として期待される環境負荷の低い LNG のパンカリング拠点形成を推進するとともに、水素エネルギーの活用や生物共生型護岸整備等の豊かな海づくりの取組も進めてまいります。また、高潮・高波の浸水被害を防止するため、護岸の高上げ工事等も進めます。
変化の多い中にあつても、安全・安心な港づくりのためには、引き続き臨海部で施設運営する皆様の防犯協力が必要です。今年もどうぞ、本市取組みへの変わりぬご支援とご協力をお願い申し上げます。
結びとなりますが、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を願いますとともに、横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます。
横浜港防犯協力会の皆様方には、新たな希望を胸に穏やかな新年をお迎えにあられたことと存じます。令和三年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
皆様には平素より、横浜水上交通安全協会の運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、横浜港防犯協力会は日頃より犯罪防止のために広報、啓発活動、会社、事業所等への各種防犯活動を



積極的に推進され、私達の地域を安全・安心な街づくりに多大な貢献をされていることに対し感謝と敬意を表する次第でございます。
昨年は世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し、未だに新たな危機のまった中であります。国内においても横浜港に停泊のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」に始まり、イオン店や外川の自粛要請、緊急事態宣言、経済対策等、未知のウイルスが引き起こしたパンデミック(世界的大流行)に混乱をしている状況であります。連日、感染者数や感染防止策が報じられるほか、メディアによる報道以外にも SNS の情報も膨大に流れております。
一日も早い、検査・医療体制の整備に加え、安全なワクチンの確保を期待し、新型コロナウイルスの感染収束と経済の立て直しを望んでおります。
本年は東京オリンピック・パラリンピックの開催の予定であり、我が国におけるテロの脅威は増すばかりであります。年々増え続ける一般市民をも巻き込む多種多様な犯罪・事件、横浜港防犯協力会の皆様の果たされる役割は益々重要性を帯び、皆様方のご活躍に大きな期待が寄せられているところでございます。
近年、高齢者による自動車や自転車の事故が多発しており、あおり運転やながら運転が問題になっております。横浜水上警察署管内では、平成二十九年十月からの「交通死亡事故ゼロ」を継続しており、昨年十二月一日現在で連続七七日となりました。その連続記録を絶やさないためには、横浜水上警察署として万全の対策で臨んでいただくことや、会員の皆様方の熱心なご協力が必要とされます。
横浜水上交通安全協会といたしましては、交通安全を主として、横浜港防犯協力会はもとより、県・市・中区・警察等関係機関のご指導、ご協力をいただきながら、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組む事を通じて交通事故の撲滅に向けて努力する所存でございますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、皆様のご発展と横浜港防犯協力会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

